

令和4年度島本町自治会長連絡協議会第2回理事会

【日時】 令和5年2月1日（水） 午後2時 ～ 3時30分
【場所】 役場地階（中庭） 第四会議室

〔出席〕 9名

〔欠席〕 3名

【案件】

1. 自治会活動に対する支援について

- (事務局) 資料に基づき説明
理事には支援の在り方について、議論いただきたい。
- (理事) 今回の議論は自治会補助金の減額を目的とした見直しか。
- (事務局) 減額ありきというわけではない。各自治会にある集会所の施設整備に対する補助金がないという課題に対して、例えば、集会所を支援する財源をどのようにして捻出していくのか、と同時に自治会活動の本質とは何かを議論し、その活動に対し支援したいと考えている。
- (理事) 資料のモデルケースでは、経常経費のみで大丈夫と言えるかもしれないが、臨時的な事案が発生した場合は、支援してくれるのか。例えば、アンテナが水漏れ等で修繕が必要となり、更新することとなった場合、別の支援ができるのか。
- (事務局) 自治会内で突発的な経費が必要となるときがあり、それに対して積み立てていくことも理解できるが、この補助金は現在運営補助金となっていることから、事業補助として経費を明確化したい。どういう事業に対しての補助金がいいのか、協議したい。
- (理事) 地域内の私有地道路の管理で自治会から支払いをしたことがあった。こういったときに支援をしていただければありがたい。
- (事務局) それぞれの地域で道路を管理していたり、集会所を管理しているなどがある。各地域でこういったことのために積み立て、留保しているか教えていただきたい。
- (理事) 収入については、一度会計に入ると色がなくなる。災害に備えて積み立てているものもあるが、そのために具体的な額を積み立てているわけではない。
- (理事) 町の補助金を自治会費の割引に使ったり、募金の分として会員から集金せず町の補助金を充当していることもある。例え、減額しても、そういうところに補助金の充当がなくなるだけで、積立金を取り崩す自治会はあまりないのではないか。
- (理事) 資料について、毎年度データを取っているのか。1年や2年ではなく10年単位で示してほしい。単年で黒字かどうかはあまり意味がない。
- (事務局) 例えば10年間を比較・分析した結果などはお示しできるかと思う。
- (理事) 黒字が出ているので補助金を減らす議論をするための資料に思える。
- (事務局) 減らすための議論ではなく、例えば集会所や施設に使える補助金がないため、このままでは自治会運営に支障が出るのではないかと考えている。この趣旨を踏まえて協議したい。
- (理事) 以前はあった災害見舞金がなくなった。大雨の際、床上浸水など被害を受けた世帯に自治会から見舞金を支出した。積立金が保険のような扱いである。これを減らすのは抵抗がある。
- (理事) 自治会の活動は収入に合った活動をする。世帯数によって活動も変わる。
- (事務局) 自治会の本質的なところで、必要な部分は何か。災害などで町からの支援がない場合に自治会で共助しようということが自治会の価値なのか、今回の意見を参考にさらに検討を深めたいと思う。
- (理事) 積立金を載せていない自治会もあるのではないか。広瀬でも公民館が損傷したときどうするのか、そういったときのために積立金は非常に大きいのではないか。

- (理事) 町が持っている集会所と町が持っていない集会所で扱いが違うのではないかと。町が所有の集会所の場合は、外壁などは当然所有者がやるべきものではないか。災害支援のために、積立金は必要であるし、そういう意味では1世帯当たり450円の補助金は必要。そもそも自治会がなくなった場合、困るのは町ではないか？
- (事務局) 今回の資料は任意の資料のため、積立金の記載の有無の差は考えられる。
- (理事) 事業費補助への転換を図るとあるが、何年か貯めて大きなものを買うことができない。例えできるように制度設計しても作業が煩雑になるだけではないか。
- (事務局) 例えば、自主防災組織が防災設備を購入する際に、町が補助を出すことは、町の補助金のスキームとして一般的である。このスキームが自治会への補助金と馴染むかわからないが、町が補助金を出す目的を担保するため、いずれはこのスキームに合わせていく必要がある。
- (理事) 決算書の提出が今は任意ということだが、公金を扱うという側面を考えれば必須にすればいいのではないかと。
- (事務局) 町からの補助金の一般的なスキームとして、申請時に予算書や事業計画書、事業完了時に事業報告書、収支報告書などが必要だがこうした書類は作成しているか。
- (理事) 事業計画、予算など総会の資料として作成している。
- (事務局) 本日の議論をもとに検討していきたい。

2. その他

社会構想大学院大学の提言について

- (事務局) 資料にもあるが、社会構想大学院大学で島本町への提言があった。この様子を録画しているので、こういった形で共有できるか検討していきたい。3時間近くあるので抜粋して編集したものを共有したい。なお、提言の様子はJコムによって放送される予定である。
- (理事) 提言の際に参加したが、いい内容で中身のある議論をしているので、他の理事にも是非見ていただきたい。机上の政策と実態とで乖離があるので、島本町にどう反映できるか、考えていただきたい。

～終了～